

# ⊕ いわみ 議会だより



## 12月定例会

恩師の思い出話に  
はじける二十歳の笑顔

- 2 公立病院の再編統合リスト撤回を求める意見書を可決
- 5 一般質問録画放送をユーチューブで視聴できます
- 5 6議員が町政を質す
- 12 常任委員会行政調査
- 16 新成人に聞きました

# 公立病院の再編統合リスト 撤回を求める意見書を可決

## 12月定例会

12月定例会を、12月17日から19日まで3日間の会期で開きました。  
一般会計補正予算など、追加2議案を含む9議案を、原案通り可決しました。  
また、議員発議により、病院の再編統合に係る意見書を可決したほか、選挙管理委員会委員・同補充員の選挙を行いました。



地域医療を守る岩美病院  
右上から時計回りに、病院外観、訪問看護、訪問リハビリ、訪問診療。

## 主な議案の概要・質疑

(注) 質疑応答は、常任委員会と全員協議会を含みます。

### 公立病院等の再編・統合に関する意見書

厚生労働省は、岩美病院を含む全国424の公立病院などの再編統合の検討を求めて、病院名を公表しました。

議会は、病院名の公表に抗議、撤回を求め、政府に次のような意見書を提出しました。

公表は機械的な基準によるものであり、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリなどに取り組んできた岩美病院の役割や、地域の事情を考慮することなくなされたものである。抗議し、撤回を求める。自治体と病院が望んでいることは、医師不足の解消などである。  
岩美町議会は、安心して暮らせる地域医療の構築を求める。

### 一般会計補正予算

1億2535万円を増額し、予算総額を69億1018万としました。

### 歳出の主なもの

学校給食共同調理場空調設備改修事業費  
165万円増額

2年度に実施予定の外調機の取替え及び調理室のエアコン整備のための設計委託料による増額。

**問** これまでは、外調機だけで、基準が示す調理室の温度管理ができていたのか。

**答** 20年度の建設当時は、外調機が外気温を10度下げて給気する能力があり、外調機だけで対応できると判断し整備した。

近年は暑い日が多く、基準を保つためにも、あわせてエアコンを整備する必要がある。



安全安心な給食を提供するため、エアコンなど設備の整備、修繕などを行う給食センター調理室

学校給食共同調理場備品整備事業費  
893万円増額

給食運搬車及び給食調理用回転釜の購入による増額。

U・I・J・ターン推進事業費  
614万円増額

空き家改修家財道具整理補助などの実績見込みによる増額

# 新年のごあいさつ



明けましておめでとうございませう。

昨年、本町では中央公民館・図書館が10月にリニューアルオープン

し、多くの町民の皆さまに積極的にご利用いただき、大変うれしく思います。皆さまに末永く親しまれる、知的活動の拠点となることを願っております。

地域医療については、昨年9月に厚生労働省が、岩美病院を含む全国424の公立病院などに再編・統合などの検討が必要と発表し、町民の皆さまに大きな衝撃と不安をもたらしました。地域の実情や病院の歴史果たしている役割などを全く無視したもので、議会も政府に強く抗議し、撤回と安心して暮らせる地域医療を求める意見書を提出しました。

今年、第2期地域創生総合戦略をスタートさせる年です。本町が進めてきた戦略の効果を検証し、その結果を第2期戦略に反映させることが必要です。

将来を担う子どもたちが全てのご家庭で自信と誇りをもって健やかに

## 議長 足立 義明

成長できる環境づくり、高齢になっても安全で安心して暮らせる地域医療や公共交通など生活環境の充実、災害時でも被害を最小限に抑えられる自助・共助・公助の体制づくり、町外から岩美町に行ってみたい、働きたい、住み続けたいと思える関係人口の創出や移住・定住の促進など、議会としても取り組んでいく所存です。

町民の皆さまから負託を受けているという責任と誇りの下、行政監視の重大な使命を全うするため、昨年3月に議会活動の在り方検討特別委員会を設置し、議論を進めてきております。

12人の議員が思想や意見の違いがあっても一致点を見出すよう、真摯で建設的な議論が行われることを期待しています。私も議長として、町議会のあるべき姿の実現に向けて全力を尽くす所存です。

町民の皆さまには、議会に一層の関心と、ご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

結びに、今年の干支「庚子」にちなんで、ねずみ算のようにたくさん幸せが皆さまのもとに訪れることをご祈念申し上げます。

個人番号カード普及促進事業費

71万円増額

個人番号カードの取得を促進するため、イベントへの出張受付などを行う経費。

単町耕地事業費

1150万円増額

新井地内の蒲生川河床下を通っている、農業用水路の修繕の設計費に伴う増額。

**問** 単町耕地事業で受益者負担は、工事費が大きくても小さくても同様の考えか。

**答** 農業施設に係る工事の場合、地元負担は3割とされている。

工事費が明らかになつた段階で、地元負担の在り方も含め相談したい。

有害鳥獣駆除事業費

349万円増額

豚コレラ対策のため、猟期のイノシシ捕獲奨励金が創設された。

**問** 捕獲実績が増えているが、個体数がどれくらい増えているか。

また豚コレラの検査はどのようにするのか。

**答** 個体数は把握できていない。

各市町村で猟期（11月～2月）に10体以上の血液検体を出すよう、県から指示されている。

これまでに、2体分の血液検体を出している。いずれも陰性であった。

定置網漁業台風被害対策事業費

279万円増額

台風19号による網流出の保険対象外部分の補助による増額。

今朝獲れ!!  
浦富定置網漁「土曜朝市」



特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

病院職員が窃盗によって起訴され、町民の信頼を損なつたことに対し、監督責任を明らかにするため、町長は一月10%、病院事業管理者は三月10%減給する。

## 人事

(敬称略)

教育委員会委員の選任に同意しました。

任期は、1月27日から4年間です。

戸田倫弘(鳥取市)

選挙管理委員会委員・同補充員を選挙しました。

任期は、1月24日から4年間です。

【委員】

山下 清(延興寺)

中島 隆敏(岩井)

山下 正己(網代)

山根みち子(田後)

【補充員】

日出嶋香代子(大谷)

山本 悦子(恩志)

小谷 和俊(浦富)

岡島田鶴子(陸上)

# 12月定例会の審議結果と賛否の状況

■すべての議案を全員一致で可決又は同意しました。(※足立議長は本会議の採決に加わらない。)

提出者	議案	提出者	議案
町長	町道路線の認定	町長	公共下水道事業特別会計補正予算
町長	一般会計補正予算	町長	介護保険特別会計補正予算
町長	代替バス運送事業特別会計補正予算	町長	教育委員会委員の任命同意
町長	国民健康保険特別会計補正予算	町長	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
町長	集落排水処理事業特別会計補正予算	議員	公立病院等の再編・統合に関する意見書

## 請願の審査結果

請願	結果	賛否の状況
日本政府に香港の「自由」「民主主義」を守る行動を求める請願書 提出者：西伯郡伯耆町大殿 1286-25 幸福実現党鳥取県本部 代表 広瀬稚章 紹介議員：升井祐子	趣旨採択	採択 升井祐子 田中克美 不採択 吉田保雄

### 討 論

**採択** (田中克美議員)  
 香港政府と中国政府に事態の憂慮を伝えれば済むような話ではない。国際的な問題になっていく人権抑圧、人権弾圧に対する抗議の姿勢を示すことを、日本政府に求めるべきだ。

**不採択** (吉田保雄議員)  
 人権の問題ではあるが、破壊行為なしに香港議会の中で解決すべきだ。

**採択** (升井祐子議員)  
 中国による弾圧は、チベット、ウイグルから始まって香港、台湾とますます強まり、香港のデモは学生だけでなく、身の危険を感じた多くの財界人などが参加している。2013年にアルジェリアで日本企業が狙い撃ちされ、10人の日本人の命を失った事件を教訓にし、万が一香港に武力鎮圧があった場合、邦人約2万人が安全に避難できるよう、自衛隊艦船や民間船を速やかに派遣すべきだ。

### 11月29日臨時会

台風19号に伴う農地災害復旧に係る設計費用155万円を計上する補正予算の専決処分の承認のほか、人事院勧告に沿った一般職員及び特別職の給与等の改正条例、施行を保留していた議員報酬改正条例の施行を可決しました。

これにより、一般会計予算額に人件費98万円を追加し、総額を67億8483万円としました。

### 討 論

台風19号に伴う農地災害復旧に係る設計費用155万円を計上する補正予算の専決処分の承認のほか、人事院勧告に沿った一般職員及び特別職の給与等の改正条例、施行を保留していた議員報酬改正条例の施行を可決しました。

これにより、一般会計予算額に人件費98万円を追加し、総額を67億8483万円としました。

町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正  
 (反対：吉田、退席：杉村)

**反対** (杉村 宏議員)

議会活動の在り方検討特別委員会において議会の公開など議会改革が協議されているが、いずれも他の議会では当然に行われている内容で、もつと踏み込んだ協議が必要だ。町議会の信頼回復には程遠い状況だ。

**反対** (吉田保雄議員)

議会活動の在り方検討特別委員会において議員報酬についても検討中であり、今は保留すべきだ。

一般会計補正予算  
 (反対：吉田、杉村)

**反対** (杉村 宏議員)

前述の、特別職の職員の給与に関する条例の一部改正、職員の給与に関する条例の一部改正及び町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正に対する反対理由により、本案に反対する。

# 一般質問録画放送を ユーチューブで視聴できます

議会活動の在り方  
検討特別委員会報告

9月議会だより発行以降の経過をお知らせします。

## 一般質問の録画放映を 12月議会分から拡充

●若美町チャンネルの放送を2日間(土・日)4回から3日間(土・日・月)6回に増やしました。開始時間は午前10時、午後6時です。

●同じ録画をユーチューブで視聴できます(12月25日開始)。質問者を個別に選択視聴できます。

●会議録完成までの約3カ月間視聴できます。  
※町ホームページの議会ページの「録画放送」をクリックしてください。

## 議員報酬の在り方を検討

●東部議長会から4町議会議員報酬の在り方の

検討に取り組むことの要請がありました。

●議員報酬が低いことが「議員のなり手不足」の要因の一つだという認識があります。

●この要請を受け止め、本特別委員会として検討することを確認し、2本立て議題の1つとして検討することになりました。

●その入り口として12月には、全国町村議会議長会が設置した「町村議会議員の議員報酬等の在り方検討委員会」の最終報告(平成31年3月)を2回にわたって勉強。

●今後は、同報告が提示した論点と課題を踏まえて、議論に進みます。

## 1期目議員の勉強会

●「議員必携」の勉強会は、10月～12月で4回行いました。

# 一般質問 6議員が町政を質す ただ

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質し、見解を明らかにさせるものです。  
結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】  
事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。  
質問時間は1人30分以内(答弁の時間を除く)で、一問一答方式で何度でも質問できます。

## 12月定例会の一般質問(登壇順)

質問議員	ページ	質問事項
宮本 純一	6	1 人口減少に伴う集落への対応について 2 集落担当員制度の活用について 3 若美町ふるさと就職支援事業について
吉田 保雄	7	1 町長の町内産業に関する各施策の目指している目標について 2 町の活性化に係る具体的提案などの実現に向けて
橋本 恒	8	1 本町の業務改善について 2 役場周辺の防災について
杉村 宏	9	1 町内救急搬送の実態は 2 100円バスを新年度から 3 若美病院医師の負担軽減を 4 若美病院管理の医師住宅は民間払い下げを
森田 洋子	10	1 子育て支援の充実について 2 男女共同参画推進について
田中 克美	11	1 424公立・公的病院が名指しされた問題について 2 再び町営住宅の連帯保証人制度の廃止を求めることについて 3 国民健康保険証の交付及び短期保険証の発行について

議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。会議録は、3月ごろから議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

限界集落への対応は  
考えているか

宮本純一議員

共助の仕組み確保に取り組み

西垣町長



宮本純一議員

**宮本** 町人口が、20年後には7666人となる推計が出されている。人口減少の推移と今後の見通しをどのように考えているか。

**宮本** 現在、限界集落、

**町長** 岩美町地域創生総合戦略を掲げ、各種施策を実施して、人口減少の抑制に取り組んでいる。目標人口は、令和22年に約9000人だ。子育て政策を充実させて、出生数の増加を図っていかねばならないと考えている。

小規模高齢化集落に該当する地域はあるか。

今後の予測はどうか。

**町長** 東地区で1集落、小田地区で5集落、蒲生地区で2集落を合わせて8集落が該当する。今後、増えていくと思っている。

**宮本** 集落機能を維持するための対策は考えているか。

**町長** 集落内の人口や世代間の構成を維持し、共助の仕組みを確保することが必要だ。

住み続けていただくための施策として、住宅の新築、リフォームに係る費用助成を行い、加えて定住支援活動交付金など移住の支援にも取り組んでいる。



田河内集落

集落担当員制度の見直しを

宮本純一議員

新たな試みを加え取り組む

西垣町長

**宮本** 集落担当員から、集落の要望や相談等の報告はあったか。

**町長** 年に10件程度の報告があった。

**宮本** 相談や要望を担当課へつなぐ役割は果たせたか。

**町長** 一定の成果は感じているが、活動については低調と思っている。

**宮本** 制度に対して、集落担当員から意見は聞いているか。

**田中企画財政課長** 集落担当員から聞き取

りをし、思いや改善意見をあらためて聞いた。

**宮本** 担当員の活動が活発となるよう、制度の見直しを行わないか。

**町長** 制度を維持していく中で、新たな試みを加え取り組んでいく。

**宮本** 集落の課題解決の

ためには、住民みずからが、現状を共通認識にすることが大事だ。

国土交通省の集落の現状分析するためのチェックシートを活用してみているか。

**町長** 集落の状況を住民自ら知っていたら、話し合いのためのツールとして活用したい。

ふるさと就職支援事業の対象者拡大を

宮本純一議員

当面は現行制度を維持

西垣町長

**宮本** 就職支援事業が始まった経緯と実績はどうか。

就職者や事業者から意見は聞いているか。

**町長** 高校生の就職内定率の低迷が続いていた平成23年に創設し、町内在住の新規高卒者などを正規雇用した中小企業に対し、経費の一部を補助してきた。

事業者からは、町内在

住者を優先的に雇用する動機付けとなつていていると聞いている。

**宮本** 制度の対象者を、大学卒業者、専門学校などの専門分野の方に拡大をしてみているか。

**町長** 当面は現行のまま、この制度を維持していきたい。

## 一次・二次産業の 今後の取り組みは

吉田保雄議員

## 町の重要産業と認識し取り組み

西垣町長



吉田保雄議員

直接支払い交付金の制度を活用したい。

鳥獣害対策は、金網や電気柵整備の支援、捕獲奨励金の交付や狩猟免許の取得費用の助成をすすめたい。

**吉田** 漁業はどうか。

**吉田** 第10次総合計画の実施計画も最終年度だ。西垣町政は、一次・二次産業にどう取り組むか。まず農業はどうか。

**町長** 後継者不足、鳥獣の農作物被害の拡大の中の総合計画と総合戦略で、基幹産業である農業の振興を図る。

①新規就農者の確保育成、②就農直後の給付金の支給、③集落営農組織や認定農業者の所得向上、④農業機械などの導入費用の支援に取り組みたい。農地を守る多面的機能支払い交付金や、中山間

60事業所があり、就業人数は1,159人、町内事業所の全従業者数の40%で、売上高は169億9,800万円だ。

町の雇用と経済を支える重要な産業と認識している。

事業者、商工会、金融機関で「施策検討委員会」を設けて取り組む。

**吉田** 町財政の健全運営

が大事だが、町債の状況はどうか。

**町長** 健全な財政運営に努めており、町債は30年度末で約71億8,000万円の残高であり、5年度末には3億8,000万円を減らせると見込んでいます。

## 町活性化の提案にこたえる 予算を

吉田保雄議員

## 協働のまちづくり予算の活用で

西垣町長

**吉田** 住民からの提案や要請にこたえ、町の活性化を推進する予算を準備して、町づくりを目指してほしい。

**町長** 町は、「協働のまちづくり」の予算を設けている。

2年度の事業として、10件の提案をいただいている。

これまでに実現した内容では、道の駅での野菜や花卉のためのビニールハウスの整備支援や、ボンネットバスを利用したアニメターの開催などを提案していただいた。予算枠の新規設定ではなく、現在の提案制度を活用して、町民の皆さんと実現に取り組んでいきたい。

大型機械であぜをつくる認定農業者



### 住民票などのコンビニ交付を

橋本 恒議員

### 4年度ごろの導入を検討

西垣町長



橋本 恒議員

入し、業務改善につなげられないか。

**町長** AーやRPAの導入は検討をしている。これらを活用することで作業時間の削減が図られ、時間の有効利用が期待される。

**橋本** 本町の働き方改革に対する姿勢はどうか。

**町長** 町として、当然に取り組んでいかなければならない課題である。

**橋本** 部署により時間外勤務に差を感じるが。

**町長** 部署により多い、少ないはある。人材育成を行い、時間外勤務の縮減に取り組みたい。

**橋本** AーやRPAなど人工知能などを活用した新しいテクノロジーを導入

### 役場庁舎の自然災害リスク評価は

橋本 恒議員

### リスクは低いと考える

西垣町長

**橋本** 役場周辺の防災上の位置づけはどうか。

**町長** 役場周辺は防災上重要な地域であるという認識を持っている。

**橋本** 役場庁舎の自然災害リスク評価はどうか。

**町長** 庁舎は耐震構造で、敷地もかさ上げしており、自然災害リスクは低いと考える。

**橋本** 本町は災害時の事業継続計画（BCP）を策定しているか。



岩美病院の避難訓練

**町長** 策定している。

**橋本** 自然災害時の電源の確保や、データのバックアップはどうか。

**村島総務課長**

車庫棟の2階に自家発電機があり、15時間運転できる。データは外部にバックアップしている。

**橋本** 車庫棟の裏山は土砂災害警戒区域だが、土砂災害の被害は大丈夫か。

**総務課長** 植栽や排水対策により、安全上問題ないと思から許可を受けている。

**橋本** 岩美病院の自然災害リスク評価はどうか。

**平井病院事業管理者** 耐震構造と、敷地のかさ上げで、影響は回避できている。

**橋本** 岩美病院もBCPを策定しているか。

**病院事業管理者** 今年度中に策定予定だ。

**橋本** 電源の確保や、データバックアップの状況はどうか。

**病院事業管理者**

自家発電機が地下にあり、72時間運転できる。データは事務所内にバックアップしており、非常時には持ち出せる。

**橋本** 岩美中学校は土砂災害警戒区域にあるが、生徒を守る防災計画はできているか。

**寺西教育長** 岩美中学校は要配慮者利用施設で、避難確保計画作成が必要だが未 completion。早急に策定し、避難訓練を実施したい。

**橋本** 洪水、土砂災害時に町民体育館、中央公民館、岩美高等学校は避難所にできないか。

**町長** 町民体育館、中央公民館は、洪水の避難所にはできない。

**岩美高等学校**は、県と覚書を交わしたので、一時避難所になる。



# 100円バスを新年度から導入すべきだ

杉村 宏議員

## 民間との整合性がとれない

西垣町長



杉村 宏議員

方にも行き詰まっている。

**杉村** 100円バスのメリット、デメリットはどうか。

### 田中企画財政課長

運賃の簡素化で分かりやすくなる。最低運賃160円より安くなり、気楽に乗っていただける。利用者増加も考えられる。

収入減で、町の持出しが増加する。

民間路線バスの料金変更が難しく、民間と町営との地域間格差が生じる。

**杉村** 30年度決算で、100円バスなら減収額353万円の2割分(約70万円)が町の新たな持ち出しになるか。

**町長** 制度上はそついった理解だ。

**町長** 具体的な方針や有効な手だてが見出せておらず、方針案検討の進め

**杉村** 難しい話ではない。新年度から実施すべきだ。

**町長** 町の負担増、町営と民間との料金体系、競合区間の整合性などがとれない。

額200円に抑え、距離に応じた料金との差を、飯網町は長電バスに支払っている。

長野でできて鳥取でできない理由はなにか。

### 企画財政課長

**杉村** 長野県飯網町は町境を越え長野市までの民間路線に対し、町内均等

長電バスの協力によりカウントした数字で補填している。



町営バス

岩美町内の乗降は把握できていない。

更の協議を早急に行うべきだ。

**杉村** 日本交通の協力もいただきたい。

**町長** 協議は考えていない。

民間バス路線の料金変更

## 以遠住居への救急対応時間は

杉村 宏議員

## 鳥越集落まで22分

村島総務課長

**杉村** 一番遠い集落に、岩美消防署から救急車が到着して、応急対応するまでの時間はどうか。

**杉村** この16分は、病院再編B項目の20分以内に対応する時間か。

その後、岩美病院搬送に必要とする時間はどうか。

平井病院事業管理者  
そついつことになる。

**総務課長** 蒲生地区の鳥越集落で22分だ。

その後、岩美病院へは20分だ。

### 病院再編B項目

公立病院の再編統合リストは、自動車の移動時間で20分以内に一定規模の他の病院があることを、公表基準の一つとしている。

**杉村** 岩美病院での救急対応が困難で中央病院までに要する時間はどうか。

**総務課長** 16分だ。

子育て支援の充実にとり組むか

森田洋子議員

子どもを第一に考えた支援を行う

西垣町長



森田洋子議員

**森田** 子ども・子育て支援事業計画は、最後の年となる。  
取り組みはどうか。

**町長** 事例を考え、さらに対策に力を入れ、支援に努めたい。

**森田** 子育て支援事業に、延長保育、子育て短期支援、一時預かり、病児病後児保育の4つの事業がある。

体制と一年間の利用数は。

**松本住民生活課長**  
延長保育は、町内3保

育所で18時〜19時、30年度31人、子育て短期支援は、市内2カ所の養護施設に委託、利用者なし。  
一時預かりは、浦富保育所で、延べ64人、病児病後児保育は、岩美病院内と市内3施設、120人の利用だ。

**森田** SOSを出している方の把握をする仕組みづくり、支援事業の周知徹底をと考えるがどうか。

**町長** 今後いろいろな施策、助成制度について周知に努めたい。

**森田** 子どもの居場所づくり事業で、子ども食堂がある。

第2、第4の木曜開催、30人前後の利用者だ。本町はどう関わっているか。

**町長** 他町の子ども食堂



ボランティアの方々が運営する岩美こども食堂

からの寄付の食材の配達、町民や道の駅へ食材の寄付のお願いをしている。PR、募金活動も取り組んでいる。  
開催日には職員も参加をして、相談にのれるようにしている。

**森田** 元年6月に子どもの貧困対策推進法が改正され、市町村も計画策定

が努力義務となった。本町の策定の取り組みは。

**町長** 貧困の連鎖を断つため、子どもを第一に考えた支援を行う。  
第2期子ども・子育て支援事業計画の中に位置

付けたい。

男女共同参画の推進の強化を

森田洋子議員

女性が積極的に参画できる町に

寺西教育長

**森田** 第2次男女共同参画に関する基本計画が策定され、2年度までとなる。

自治会などの女性登用、防災、まちづくりの女性参画が上がらない。  
今後の対策は。

**教育長** 男女共同参画社会の実現のため、町民のご理解とご協力が必要だ。各種団体と連携し、女性が生き生きと積極的に参画できる町を目指して啓発に努めたい。

**教育長** さまざまな啓発事業を企画実施し、参加を呼びかけ、認識を深めていただく。  
男女共同参画審議会の中の目標であり、達成に向けて頑張りたい。

**森田** 自治会に、女性の意見、要望を反映できる仕組みを考える。  
自治会長会で聞くことはできないか。

**教育長** 女性の参画を、今以上に取り組んでいた

## 地域医療を守るため町民集会を

田中克美議員

## 町民集会は状況を見て

西垣町長



田中克美議員

**田中** 厚生労働省の病院名公表をどう思っているか。

**町長** 地域の実態を考慮すべきで、国に不信感をおぼえる。

**平井病院事業管理者**  
地域に一番適切に考えて運営しており、承服できない。

**田中** 鳥取県地域医療構想は、必要病床数は増え続けると予想しているが、国は2025年に今より17%も減らしている。病床削減ありきだ。

とが首長の共通認識になっていると思う。

**病院事業管理者**

病院間で日常的に連携を進めている。

**田中** 地域医療を守る意思を内外に示す町民集会を提案する。

**町長** 現状認識を共有する手法を検討し、町民集会は状況を見たい。

地域医療にとって重大な局面だ。名指しされなかつた市町も含めて連携すべきだ。

**町長** よそ事としないこ



町民になくてはならない岩美病院

## 連帯保証人廃止がベスト

田中克美議員

## 保証人は必要、免除規定を考える

西垣町長

**田中** 町長は連帯保証人の所得要件は設けないと述べた。

これまで一度も連帯保証人に請求していない。保証人は要らないのではないか。

**町長** 今年度から連帯保証人に請求するようにした。

連帯保証人の免除規定を整えていきたい。

**田中** 保証業者の活用には、必ず支払ってもらうという決意が込められているのか。

**町長** 所得に応じた家賃なので、支払っていただけかと考えている。保証業者の活用は、町の債権の保証になる。連帯保証人の所得要件は議会と相談したい。

人を定めるも事情がある方は免除を、積極的に法人保証を勧めてはいないと述べている。

**町長** 意味は分かるが、保証人は債権の担保として必要。

免除規定を議会とも相談したい。

## 国保証が届かないのはいけない

田中克美議員

## 全戸に届けるよう指示した

西垣町長

「短期保険証にしても保険料が払えるはずはなく、徴収率が引き上がることはない」と話している。

**町長** 質問を受けてあらためて調べさせた。届かないということがあってはならない。全戸に届けるため、個別訪問するよう指示した。

接触の機会を設けることが短期保険証を発行する第一の目的なので、発行は続けたい。

**田中** 10月1日時点の短期保険証は、有効期間6カ月が15世帯、うち2世帯に届いていない。期間3カ月が54世帯、うち17世帯に届いていない。通常の保険証も4世帯に届いていない。

保険証が被保険者の手もとに届いていないという事態はつくってはならない、そもそも短期保険証にする必要はない。横浜市が8月から短期保険証発行をやめ、1国の通知に立ち返っただけ、

# 常任委員会行政調査

## 総務教育常任委員会

調査先

新潟県三条市

調査日

元年11月6日

### 調査の目的

岩美町では、少子高齢化と人口減少が進む中、町営バスの運行収入は減少し続け、経費は運転手不足も絡んで大きく増加している。高齢化が一層進む中で、町民の交通手段をいかに継続的に確保し続けるか、大きな課題である。

持続可能な地域公共交通の在り方を模索するため、昨年、地域公共交通分野で民間事業者や地域住民との先進的な取り組みが評価されている山口市の実情を調査し、本年7月に岩美町の地域公共交通について住民と意見交換を行ったことを踏まえ、具体的な施策につなぐため、新潟県三条市のデマンド型乗り合いタクシーを調査した。

### 調査の概要

デマンド交通ひめさゆり

#### ① 運行内容

タクシー車両でデマンド交通専用の停留所間を移動するシステム

#### ② 運行日時

土・日を含む毎日午前8時から午後6時まで

#### ③ 料金

一人で乗る場合と複数人で乗る場合で異なる。一人乗りの場合は距離により2km未満500円から30km以上3000円まで、複数乗車の場合は市内4エリアの移動パターンにより一人当たり400円若しくは800円の定料金制となっている。

#### ④ 利用方法

利用の1時間前までにタクシー会社に予約し、時間には停留所待つ。

#### ⑤ おでかけバス

65歳以上若しくは運転免許証返納者を対象に、おでかけバスを1枚1000円で取得すれば、複数乗車の場合に限り通常利用料が800円のところは5000円で、400

円のところは3000円でひめさゆりを利用できる。有効期限は1年間。

三条市の公共交通が抱えていた課題

- ① 公共交通における負のスパイラルで、公共交通利用者数の減少
- ② マイカー依存の拡大（空気を運んでいる循環バス）

地域公共交通総合連携計画の策定

公共交通の在り方を模索し、20年3月に法律に

基づく地域公共交通総合連携計画を策定し、さまざまな社会実験に取り組んできた。

これまでの取り組み（さまざまな社会実験）

デマンド交通については、20年から山間部の下田地区と市街地で社会実験に取り組んできた。

1期・2期の社会実験を経て第3期では、現在の原型となる市全域でのデマンド交通の社会実験を行い、以後、本格運行を行っている。



三条市のデマンド型乗合タクシーを調査

循環バスは、一部減便したり運休したり見直しをしている。また、高校生の通学のための高校生通学ライナーバス、北東部の地域住民主体で井栗地区コミュニティバスの社会実験に取り組み、それぞれ本格運行に至っている。

### まとめ

●三条市では、路線バスも走っている中で全域にデマンド交通を整備し、時間帯によって使い分け、ベストミックスで運行している。

市の担当者は、「廃止代替バスが通っているのであれば、そこを生かしつつ、接続までの部分にデマンド交通を整備することも考えられる。その町々によって交通事情も異なるので、それぞれの町の事情を比較しながら参考にしたい」と説明された。

町全体で整合性の取れた総合的な交通網を検討する必要がある。

●三条市は、デマンド交通ひめさゆり、市内循環バスぐるっとさん、高

校生通学ライナーバス、井栗地区コミュニティバスなど、住民に対するきめ細かな事業の社会実験を何度も繰り返して、経営的視点を持ちつつ、地域のニーズに対応するよう努力している。

また、「おでかけバス」などの企画も工夫されている。

●デマンド交通のみならずバスの時刻表やJRの時刻表、デマンド交通の停留所も載せた「三条市公共交通マップ」を地図会社とタイアップして作ったり、交通事業者も自発的にPRや乗務員のマナー研修を行うなど、公共交通の促進に行政と事業者が丁寧に取り組まれていると感じた。

●岩美町では、30年11月に交通実態に関するアンケートを実施している。これをもとに、早急に町民や交通事業者、公共交通に係る有識者らと協議を進め、町の実情に合わせて高齢者等に利便性の高い公共交通の確保に向けて、具体的に行動しなければならぬと感じた。

# 常任委員会行政調査

## 調査先

長野県飯綱町

## 調査日

元年11月7日

## 調査の目的

具体的な施策につなぐため、ICTを活用したドア・ツー・ドア型デマンドワゴンなどの新公共交通システムの実情を調査した。

## 調査の概要

### ①(アイ)バス運行事業

定時定路線は各バス停を決まった時刻に運賃200円で運行している。デマンドワゴンは旧三水地区2と旧牟礼地区2の4エリアに分けて、予約を受ければ町内の周辺から中心までどこへでもドア・ツー・ドアの運賃300円(200円での実証実験が好評で、本年12月から200円に改定予定)で運行しており、町内に交通空白地域はない。

町の周辺から役場、病院、スーパーなどが集まる町の中心までのまちな行き便が3便と、町の中心から周辺までのお帰り便



ドア・ツー・ドア型デマンドワゴンを視察

が4便設けられている。まちな行き便は発車30分前(第1便は前日)まで、お帰り便は10分前までの予約受付が必要となっている。

まちな行き便の第1便は9時15分発となっているが、牟礼駅発長野方面行き北しなの線との接続が悪い。事業者と協議して、本年12月から牟礼駅9時27分発に接続する予定になっている。

また、夜には牟礼駅から牟礼と三水の2方面に予約型ナイトワゴン(定員8人)が運賃200円で運行されている。

## まとめ

●飯綱町の担当者も、「バスの運転手不足などから、スクールバスの子どもたちと一般の利用者の混乗化を近い将来考えていかなければならない」と説明された。



ICTを活用した受付システムを視察

岩美町でも少子化の現在では、スクールバスと路線バスの交通手段を分けて考えるのではなく、効率の良い方法を考えるべきではないか。

●飯綱町は、法定協議会をはじめ、さまざまな社会実験や実証調査、中学生や事業者からの聞き取りなどさまざまなアンケート調査、全世帯意識調査などを通じて多くの人を巻き込み、住民のニーズを真摯に受け止めていろいろな角度から工夫して対応されている。

特に、各種調査段階から、地域のコンサルタント会社と協力して多角的

な利用者・住民のニーズ調査や実証実験を丁寧に行い、新公共交通システム計画を策定し、コスト面でも説得力をもって、平日のみの運行形態としていることに住民の理解を得ている。

岩美町でも、多くの方々に協力を求めて、住民に理解していただける公共交通システムの構築に向けて、具体的に取掛かる必要がある。

●民間バスと町営バスの運営は当然にそれぞれ独立し、それらの運行する目的は異なる。

廃止代替バスである町営バスは福祉や住民の安

全安心を維持・向上させる面が強い。

しかし、基本的には営利を目的とする民間バスの料金に沿う運営を、町営バスも取らざるを得ない時代が続いている。

飯綱町は、町が所有しているバスのほか、長電バス4台、飯綱ハイヤー3台も活用して公共交通システム「(アイ)バス」が構築されている。

その中で、民間バス路線の一部を、自治体の意向に沿う料金にして、それによる料金不足分を自治体が負担することで、自治体内の廃止代替バス利用料金との均一化を図っていることは参考になる。

●オペレーターがICTを活用した受付システムでバスやワゴンの予約の取りまとめをするデマンド交通は感動的であった。オペレーターの賃金を含めて5千万円弱の行政負担であり、その8割が特別交付税措置されるといふ。

岩美町でも採用に向けて検討すべきである。

# 常任委員会行政調査

## 産業福祉常任委員会

調査先

内閣府

調査日

元年11月12日

策計画」を策定することが努力義務とされた。国の改正内容及び新しい大綱について認識を深める。

調査の目的

本年6月の「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の改正により、市町村も「子どもの貧困対

調査の概要

都道府県計画については、改正前の法律で努力義務となっており、47都道府県で策定済となつて



子どもの貧困対策に係る国の大綱について認識を深める（内閣府）

いる。

市町村計画については、元年6月12日で145市町村が策定済みで約1600市町村の8%と少ない現状である。

この計画は、「子どもの貧困対策計画」単独の計画であっても、次世代育成推進法に基づく行動計画や、子ども・子育て支援計画などの他の計画と一体であってもよいが、「子どもの貧困」という枠をつくることが望ましい。

策定済みの市町村においては、他の計画と一体のものが約半分あるとのことであった。

調査先

東京都荒川区役所

調査日

元年11月13日

調査の目的

全国的にも先進的取り組みとして注目されている。「子どもの貧困対策」について学ぶ。

調査の概要

16年に「区政は区民を幸せにするシステムである」を区長発信として掲げ、職員一人ひとりが区民を幸せにするために何ができるかを考える組織となった。

22年5月に「子どもの貧困問題検討委員会」を庁内に設置して各部課で検討を始めるとともに、一般財団法人荒川区自治総合研究所を発足した。子どもの貧困は、多面的で外からは見えにくく家庭内の実態であり個人情報保護が絡んで、実態は必ずしも明らかでなかった。早期発見のために窓口職員などのスキルアップや個人情報保護の仕組みづくり、児童相談



全国でも先進的な荒川区の取り組みを学ぶ

所設置に向けた課題などの検討を行った。

行政だけで解決できない地域の力を生かした「子どもの居場所づくり事業」を27年度に開始し、学校や地域の民生委員、子どもに関する機関から紹介を受けている子どもたちが参加、週1回開催している。

また、地域の方たちが他世代も参加できる「子

ども食堂」を立ち上げた。その中で、不登校や学業不振で高校進学をあきらめていた子が触発され、高校進学を果たしたなど成果を上げている。

# 常任委員会行政調査

## 調査先

東京都文京区  
社会福祉協議会

## 調査日

元年11月13日

## 調査の目的

子ども食堂の位置づけと居場所づくりにについて学ぶ。

## 調査の概要

文京区には19の短大・大学があり教育の町といわれている。

文京区社会福祉協議会の職員は50人程度で介護



社会福祉協議会の「子ども食堂」を学ぶ（文京区）

保険事業は行っていない。組織として特徴的なのは地域コーディネーターの存在と、地域連携ステーションという市民活動センターを運営していることである。

地域福祉コーディネーターの仕事は、個人支援と地域支援で、さまざまな問題を複合的に抱えながら一つひとつが福祉や支援制度に該当しないような、制度の狭間の相談を解きほぐしながら、専門機関と一緒に解決している。

子ども食堂は、貧しい子が来るとか、貧困層のための施設というイメージだが、そういう子どもだけの場所ではなく、地域との交流の場としてとらえている。

また、若い世代が増えて、共働きのため夕飯を子どもだけで食べたりする家庭も増え、子どもの孤食や孤立をみんまで考えようという位置づけでもある。

文京区社会福祉協議会は、子ども食堂の助成金制度を作っている。

今年度登録されている団体は10団体だが、助成金をもらわずに活動している団体も数団体あり、助成金制度以前から活動している団体や、助成金をきっかけに始めた団体もある。

## 調査先

総務省

## 調査日

元年11月14日

## 調査の目的

25年にマイナンバー法が成立し、27年には通知

カードが交付され、28年からマイナンバーカードが交付されている。マイナンバー制度及びマイナンバーカードについて学ぶ。

## 調査の概要

マイナンバーは、本人の意思にかかわらず国内の全住民に付番された12桁の個人番号で、行政事務において利用されるものである。

マイナンバーカードは、マイナンバー使用時の本人確認を1枚で行えるように、顔写真、個人認証ICチップが入ったカードである。

本人の申請に基づき、市町村長が厳格な本人確認を行った上で交付される。

4年度中に、国民のほとんどがマイナンバーカードを所有することを目指すとされている。

マイナンバーカードの交付率は、元年11月1日現在で全国14.3%、鳥取県11.4%、岩美町は11.7%となっている。



マイナンバーカードについて学ぶ（総務省）

## 今後の取り組み

市町村の「子どもの貧困対策計画」の策定が努力義務とされた。

今回の行政事務調査は、町の計画策定や施策推進につながることを最終目標としている。

町内のボランティア団体によって開設された「子ども食堂」の今後の展開などに注目しながら、

子どもの貧困対策推進法の改正内容及び国の新しい大綱、子どもの貧困対策に積極的に取り組んでいる先進事例の取り組みを踏まえ、今回の調査で学んだことをどう生かしていくか、今後も議論するとともに、引き続き調査研究を行っていく。

# 新成人に聞きました



成人式実行委員の皆さん



高村日菜さん  
(小田)

この度は成人式の実行委員をさせていただきありがとうございました。懐かしい友達と協力してよい成人式になるよう頑張りました。素敵な式になったと思います♡♡

久しぶりに友達に会って一人一人夢に向かって頑張っているなど自分も勇気づけられたので、実行委員できてよかったなと感じました！私がんばりますっ♡



澤 大貴さん  
(大岩)

2020年は自分の将来を決める大事な年になってきます。大学3年生ということもあって、責任がともなってくるので、立派な大人になれるように自分自身をしっかり磨いていきたいと思います。この経験をしっかり生かしていきたいと思います。



吉本彩華さん  
(浦富)

この度は実行委員として成人式に携わることができ大変うれしく思っております。懐かしい友人や先生方と久しぶりに会えてとてもすてきな時間をすごすことができました。

これからも岩美町の一員として岩美に貢献できたらなと思います。



北村理佐子さん  
(浦富)

私は岩美町で保育士になりたいという夢を見つけ、バレーボールでは岩美高校で鳥取県代表として春高・インターハイにも出場させてもらいました。

温かい地域の方、家族、たくさんの方に支えられ、大好きな仲間と一緒に無事二十歳を迎えることができとても感謝しています。これからは支える側の人間になれるよう頑張っていきます!!



山本佑輔さん  
(蒲生)

私は今年の春、新見公立短期大学を卒業し、鳥取市内の介護老人福祉施設で介護士として働き始めます。他県に出たからこそ、より鳥取を、岩美を大好きになれました。

ここまで支えてくれた家族、地域の方々その他たくさんの方々に恩を返していけるように気を引き締めて生活していきたいと思っています。



川部友己さん  
(大岩)

なぜ実行委員会に参加したかという、成人を迎えるということで新しい事にどんどん挑戦していきたいなと思っている時に成人式実行委員に誘われたので実行委員会に入らせてもらいました。これをきっかけにまた様々な事で岩美町に貢献出来たらなと思っています。



榎尾雄基さん  
(大岩)

今年は短大を卒業し、社会人として新たな一歩を踏み出す年です。就職は岩美町ではないですが、20年間を過ごした、この岩美町の美しい景色や友だちとの思い出とともに、子どもを預かる保育者としての責任と自覚を持ち、春から頑張りたいと思います。

## 議会だより調査特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員長	委員長
橋本	升井	森田	吉田	寺垣	宮本	柳村	杉中	田中
	祐子	洋子	保雄	智章	純一	正敏	克宏	義美
恒								

【発行責任者】

議長 足立 義明

今号は、2ページの大見出しに注目してください。

議会の審議内容を伝える議会広報で大事なことは、住民にわかりやすい誌面づくり、かつ行政とは異なる議会の視点で表現すること—これは、議会広報研修会の講師が必ず強調されることです。

国が公表した公立病院のリスト撤回を求める意見書可決は、町民代表という議会の機能を発揮したものです。

12月議会を、議会の視点に立った見出しで押し出したことは、議員の一人としてうれしことです。

田中克美

## 編集後記